

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	建設機械施工における環境対策の推進		担当部局庁	総合政策局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度/平成27年度		担当課室	公共事業企画調整課 環境・リサイクル企画室	室長 畠中 秀人			
会計区分	一般会計		施策名	9 地球温暖化防止等の環境の保全を行う				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	地球温暖化対策基本法案		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球温暖化対策のため建設機械から排出される二酸化炭素の大幅な削減を目指して、ハイブリッド建設機械・電動建設機械等の新たな技術に対応した燃費測定手法の整備、燃費データを活用した燃費基準値の設定と低燃費を実現した建設機械の普及促進、カーボンニュートラルであるバイオディーゼル燃料(BDF)の建設機械への使用促進を図ることにより、建設機械施工における環境対策を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地球温暖化対策に資するため、建設機械から排出されるCO2の大幅削減を目指し、我が国の先進的な技術(ハイブリッド型建設機械等)の一層の開発競争を促すための適切な評価手法を確立するとともに、CO2排出量の削減に資する建設機械類及び燃料の活用・導入を促進する。これらの検討にあたっては、学識経験者等を含め産学官連携を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	19	18	16	10	9	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	19	18	16	10	9	
		執行額	14	18	14			
	執行率(%)	72%	99%	87%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (26年度)
	ハイブリッド型建設機械等の普及台数		成果実績	台数	200	470	1040	1200
			達成度	%	17%	39%	87%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	ハイブリッド型建設機械等の燃費基準値の設定に向けた検討であるため、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)					
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	地球温暖化防止等対策調査費	9.3百万円	8.3百万円					
	諸謝金	0.1百万円	0.1百万円					
	職員旅費	0.3百万円	0.3百万円					
	委員等旅費	0.07百万円	0.07百万円					
計	10百万円	9百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地球温暖化対策基本法案に基づき、地球温暖化防止を目的に国が実施している重要な事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	普及促進を図っているハイブリッド型建設機械の普及台数は順調に増加している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である企画競争有識者委員会により審議していただいている。また、契約している相手方から直接報告書を提出させることにより事業実施内容を把握している。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 <競争性・透明性の高い入札方式の導入> ・発注先の選定については、企画競争で実施をしているが、より競争性の高い入札方式の導入を図るために、参加条件をより緩和するよう見直した。この条件は第三者機関である企画競争有識者委員会により審議していただいているため、競争性は向上している。 ・企画競争の透明性についても、企画競争有識者委員会により審議していただいているので確保されている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>入札内容については、第三者機関の審査により、一定の透明性・競争性の向上が見られるものの、入札参加企業が少ないため、参加条件の緩和などを行い、より一層の入札方法の見直しを図るべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	<p>予算執行については、引き続き参加条件の緩和・見直し等を行い、競争性の向上を図る。</p>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	45	平成23年行政事業レビュー	21

国土交通省
14百万円

職員旅費
0.07百万
円

油圧ショベルにおいて、小型機種及びア
タッチメント装着機種の、燃費基準設定
及び燃料消費量評価方法の検討



【企画競争入札】

A.(社)日本建設機械化協会
14百万円

油圧ショベルについて、小型機種及びア
タッチメント装着機種の燃費試験及び燃
料消費量算出方法の検討

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)(単
位:百万円)

A.(社)日本建設機械化協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当者人件費等	8.800			
試験費	建設機械の賃料、燃費試験実施等	5.163			
その他	旅費交通費等	0.002			
計		13.965	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.000	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本建設機械化協会	油圧ショベルについて、小型機種及びアタッチメント装着機種の燃費試験及び燃料消費量算出方法の検討	13.965	1	99.7%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					